

チンバートル・ヒュクハムジャフ研究員（モンゴル）



はじめまして。私はモンゴルから来ましたチンバートル・ヒュクハムジャフと申します。私は2006年にモンゴルの防衛大学を卒業し、現在はオルホン県の非常事態局で情報専門官として、ラジオ通信や早期警報システムの担当をしています。近年のモンゴルにおける災害の増加に伴い、モンゴル政府は今後発生が危惧される自然および人的災害による被害を最小限に抑えるべく、災害管理システムの強化に着手しました。さらに2003年5月20日には防災法が制定され

ました。

地理的には、モンゴルはアジア大陸の中心に位置し、中国、ロシア、カザフスタンに囲まれています。国土は約156万平方キロで人口は約287万人です。人口密度は1平方キロメートルあたりおよそ2人です。モンゴルは21の州で構成されており、首都はウランバートル、政治は議会制民主主義が採用されています。

モンゴルの中心部は平坦なステップ気候です。南部の一部はゴビ砂漠で、北西の一部は山間部です。国のほとんどは、夏は高温で10月から2月にかけての冬は極端に寒くなります。1月の平均気温はマイナス30度を下回ります。モンゴルは1年のうち257日が雲に覆われ、ウランバートルは世界でも最も寒い都市の一つです。産業においては、モンゴルの主要産業は農業と鉱業です。銅、スズ、石炭、タンゲステン、金、豊富などの鉱物資源に恵まれています。

一方で、自然災害においては大雪、火災、洪水、地震、人的災害など多くの種類の災害が発生しています。特に2010年から2012年の3年間において、私たちは多くの災害を経験しました。例えば、多くの火災、複数の感染症、河川や湖で発生する水難事故など、その種類も多岐にわたっています。これらの災害は、多くの人命が奪われ、また合わせて甚大な経済損失をもたらします。そこで、モンゴル政府は、地震防災の一つとして2012年7月4日から地震早期警報システムのプロジェクトを開始しました。現在、32基のサイレントタワーがウランバートルに建設中で、今後さらに60基の建設が必要となってきます。

最後に、今回客員研究員への参加の機会を頂いた日本政府とアジア防災センターに感謝を申し上げます。